

令和7年度 椎葉村立椎葉中学校 学校評価書

本年度の重点目標	ふるさとを愛し、将来の夢を求めて、心豊かにたくましく生きる生徒の育成	
	1 確かな学力の育成	⇒ (1) 「個別最適な学び」と「協動的な学び」の一体的な充実（聴き合い学び合う関係づくり）
	2 心の教育の充実	⇒ (2) キャリア教育の充実 (3) 教育相談の充実
	3 健康安全と体力の向上	⇒ (1) 基本的な生活習慣の定着 (2) 体力の向上 (3) 安心・安全な学校生活
4 家庭・地域との連携	⇒ (1) 家庭・地域・学校の連携 (2) 地域への情報発信 (3) 地域行事等への参加	

※ 評価について 4 期待以上 3 ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

	具体的目標	評価指標及び方策と手立て	評価項目	自己評価		総合評価	結果の考察・分析及び改善策等 【○成果 ●課題 ◎今後の改善策】
				生徒	保護者		
確かな学力・心の教育の充実	(1) 「個別最適な学び」と「協動的な学び」の一体的な充実（聴き合い学び合う関係づくり）	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ひなたの学び」の授業実践</li> <li>「見方・考え方」を働かせる授業の実践</li> <li>ICTの効果的な活用の推進</li> <li>家庭（寮）学習の充実</li> <li>人権意識の高揚</li> <li>合理的な配慮を考慮した特別支援教育の充実</li> </ul>	①仲間と協働しながらより良い解決策を見出す授業形態となっている。	生徒 3.71	保護者 3.27	3.29	○仲間と協働する授業について、生徒たちは対話を通じた解決策の模索に価値を見出している。 ●教職員が、目標に達していないと厳しく自己評価している可能性がある。 ◎生徒を含めて授業改善の目的等を共有していく必要がある。 ○「生徒の話をよく聞く」の生徒評価が全項目で最高値であり、教職員も手応えを感じている。信頼関係の構築でも生徒・保護者ともに高い評価を付けており、精神的なセーフティネットが機能していることが伺える。 ●家庭（寮）学習の保護者評価が低く、家庭での取組が見えにくい、あるいは不十分だと感じられている。 ●体験学習や講話がまだ将来の具体的な意欲に繋がりがきいていない。 ◎学習習慣の定着を学校・家庭・寮の三者で支える仕組みを強化する。 【学校運営協議会】 ●学力の二極化が見られる。 ◎学習内容を理解できないままになっている生徒がないよう、補充学習などきめ細かな指導を推進する必要がある。
			②自分の考えや行動を修正したりするなど、生徒が自ら進んで学習に取り組めるように指導している。	生徒 3.43	保護者 3.06	3.24	
			③家庭（寮）で学習する課題を適切に出し、生徒が分からないところは指導している。	生徒 3.57	保護者 3.00	3.19	
④相手の話をよく聞き、自分の気持ちを伝えることで、深い信頼につなげるよう指導している。			生徒 3.67	保護者 3.36	3.34		
健康安全と体力の向上	(2) キャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験や講話による、職業や進路への関心意欲の高揚</li> <li>自立意識の涵養と豊かな人間性の育成</li> <li>椎葉村学への積極的な地域人材の活用</li> </ul>	⑤体験学習や講話を通じて、進路や将来の職業について関心、意欲を向上させている。	生徒 3.37	保護者 3.21	3.19	○部活動の全職員による指導体制が生徒に支持され、活発な活動につながっている。 ◎地域展開に向けて、部活動指導員の連携や発掘を深める必要がある。 ○生徒の自己管理意識が高く、「自分の身は自分で守る」という教育（メディアリテラシーや安全点検への関与）が、生徒自身の自信に直結している。 ◎学校で行っている安全点検や健康管理の取組を、より具体的に共有（可視化）する必要がある。 【学校運営協議会】 ●保護者の中にいじめに対する不安の声を耳にすることがある。 ◎友人間のトラブルなど当事者同士の解決だけでなく、周りの生徒へのケアや指導をさらに充実し、全体のモラルを高めていく必要がある。
	(3) 教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>カウンセリングマインドを生かした指導</li> <li>不安や悩み、困難と思える問題解決の手助け</li> </ul>	⑥普段から生徒の話をよく聞いて、生徒が困っていることなどに、早めに気づこうとしている。	生徒 3.75	保護者 3.03	3.37	
	(1) 基本的な生活習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>良いあいさつの励行</li> <li>無言清掃の徹底</li> <li>定期的な全校集会での全体的な指導の充実</li> <li>生徒主体の学校行事等の企画、運営の推進</li> <li>いじめ防止対策や不登校生徒への適切な対応</li> </ul>	⑦生徒会活動や係活動などにおいて、自治的な活動ができるよう指導している。	生徒 3.63	保護者 3.42	3.39	
家庭・地域との連携	(2) 体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員による顧問・副顧問制による部活動の活性化</li> <li>体力向上プランによる計画的な取組</li> </ul>	⑧いじめをしない、させない、見逃さない指導をしている。	生徒 3.80	保護者 2.91	3.42	◎部活動の全職員による指導体制が生徒に支持され、活発な活動につながっている。 ◎地域展開に向けて、部活動指導員の連携や発掘を深める必要がある。 ○生徒の自己管理意識が高く、「自分の身は自分で守る」という教育（メディアリテラシーや安全点検への関与）が、生徒自身の自信に直結している。 ◎学校で行っている安全点検や健康管理の取組を、より具体的に共有（可視化）する必要がある。 【学校運営協議会】 ●保護者の中にいじめに対する不安の声を耳にすることがある。 ◎友人間のトラブルなど当事者同士の解決だけでなく、周りの生徒へのケアや指導をさらに充実し、全体のモラルを高めていく必要がある。
	(3) 安心・安全な学校生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>寮の職員や保護者との綿密な連携による生徒の健康状態の把握</li> <li>全職員による毎月1回の学校施設の安全点検の徹底</li> <li>メディアリテラシー教育の推進</li> </ul>	⑨部活動によく関わって積極的に指導している。	生徒 3.82	保護者 3.48	3.47	
	(1) 家庭・地域・学校の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事、PTA行事の充実と積極的参加</li> <li>学校運営協議会との熟議の充実</li> <li>安心安全メールの充実</li> <li>椎葉村学の充実</li> </ul>	⑩自分の身は自分で守るという自己管理意識をもたせている。	生徒 3.88	保護者 3.00	3.29	
家庭・地域との連携	(2) 地域への情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>寮の職員や保護者との綿密な連携による生徒の健康状態の把握</li> <li>全職員による毎月1回の学校施設の安全点検の徹底</li> <li>メディアリテラシー教育の推進</li> </ul>	⑪家庭や地域からの意見・要望を受け止め、教育活動に反映させている。	生徒 3.65	保護者 3.12	3.26	◎部活動の全職員による指導体制が生徒に支持され、活発な活動につながっている。 ◎地域展開に向けて、部活動指導員の連携や発掘を深める必要がある。 ○生徒の自己管理意識が高く、「自分の身は自分で守る」という教育（メディアリテラシーや安全点検への関与）が、生徒自身の自信に直結している。 ◎学校で行っている安全点検や健康管理の取組を、より具体的に共有（可視化）する必要がある。 【学校運営協議会】 ●保護者の中にいじめに対する不安の声を耳にすることがある。 ◎友人間のトラブルなど当事者同士の解決だけでなく、周りの生徒へのケアや指導をさらに充実し、全体のモラルを高めていく必要がある。
	(3) 安心・安全な学校生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>寮の職員や保護者との綿密な連携による生徒の健康状態の把握</li> <li>全職員による毎月1回の学校施設の安全点検の徹底</li> <li>メディアリテラシー教育の推進</li> </ul>	⑫地域と連携しながら、ふるさと椎葉に将来にわたって関わり続けようとする態度を育てている。	生徒 3.63	保護者 3.21	3.39	
	(2) 地域への情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事、PTA行事の充実と積極的参加</li> <li>学校運営協議会との熟議の充実</li> <li>安心安全メールの充実</li> <li>椎葉村学の充実</li> </ul>	⑬学校・学級通信やHP等で積極的に情報発信をしている。	生徒 3.86	保護者 3.30	3.39	
家庭・地域との連携	(3) 地域行事等への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事、PTA行事の充実と積極的参加</li> <li>学校運営協議会との熟議の充実</li> <li>安心安全メールの充実</li> <li>椎葉村学の充実</li> </ul>	⑭地域の活動や行事に積極的に参加している。	生徒 3.78	保護者 3.45	3.52	◎部活動の全職員による指導体制が生徒に支持され、活発な活動につながっている。 ◎地域展開に向けて、部活動指導員の連携や発掘を深める必要がある。 ○生徒の自己管理意識が高く、「自分の身は自分で守る」という教育（メディアリテラシーや安全点検への関与）が、生徒自身の自信に直結している。 ◎学校で行っている安全点検や健康管理の取組を、より具体的に共有（可視化）する必要がある。 【学校運営協議会】